



## 学校だより

7月号(第03-04号)

令和3年7月20日

横浜市立高田中学校

校長 横田 由美子

TEL : 591 - 4183

### 「自分にとっていちばん良い夏休み」を

あっという間の1学期が終わり、約5週間の長い夏休みが始まります。ぜひ三者面談の結果を生かして、それぞれの時間を大切にして、計画的に「一人ひとりが」「自発的に」いろいろなこと、やってみたいこと、やらなければならないことに取り組んでほしいです。賛否両論が渦巻いた東京オリンピック・パラリンピックもいよいよ始まります。さまざまな声がある中で悩

みながらも、自らの使命と目的のために全力でひたむきにベストを尽くす選手の姿や、オリンピック・パラリンピックをめぐる組織委員会や政府などでの大人たちの姿などから、学ぶことも多いと思います。しなやかに、たくましく。それぞれが自分にとっていちばん良い夏休みとなりますように。



### 【「2021 夏の水泳授業」を地域の力で実現できました！】

コロナ禍のプール活動です。高田中としては、「プールや着替えでの密を避けるためいつもの半数でプール授業を半数は並行で保健授業をしたい。」 また、「一部の学年に絞るのではなく、なんとか全生徒実施がしたい。」 安全のためにプールには2名の指導者が必要な中、並行で保健授業を行うことは我が校の規模ではかなりの難問で、保健体育科の田村先生、山下先生と頭を抱えていました。これを、強力な支援者として、「全学年全授業」ウォーターメイツスイムクラブ(港北区)のプロコーチ3名が交代でプール指導に来てくださることで解決しました。これまでプールはちょっと苦手だった生徒たちも、少人数で、褒められながら、上達目覚ましく嬉しそうでした。高田小の赤坂校長の情報提供と、地域ネットワークとPTAの理解があって実現ができました。本当にありがとうございました。



## 【たか中 GIGA スクール】

昨年からの継続の技術科プログラミングや美術科マルちゃん授業に加え、様々な教科の調べ学習に、協働学習に、課題提出に、学級活動や行事に、生徒会活動に委員会活動にと、my chromebook 活用の場を少しずつ少しずつ広げています。先生たちも忙しい中、試行錯誤しながら一步一步前に頑張っています。

子どもたちの積極的な取組も目覚ましいです。生徒総会は放送総会でしたが、放送と撮影は生徒が担当で、振り返りも生徒が「自力」で Google form で作ったアンケートに教室の全生徒一人ひとりが chromebook から回答しました。先週は、放課後通りかかった保健室で、保健委員が ICT 支援員に教わりながら Google slide の協働編集（ひとつのファイルを複数人数が同時に編集する）機能を使って「スマホ・ゲームと生活習慣」について資料を作ったり、Google form でアンケートを作ったりしていました。保健委員会発案の活動で、このあと、資料は動画に変換して、作ったアンケートと共に高田中ブロックの2小学校に渡して見てもらう予定だそうです。翌日は別の保健委員も加わり、自分たちだけで、わいのわいのと検索をかけて資料を貼って、、、「おー!」「わー!」と工夫しながら進めていました。頼もしい限りです。



中1 理科：植物の観察



放課後 保健委員さんたち

## 【市営地下鉄校外学習～56組】

個別支援学級では、進路学習の一環として、7月14日に校外学習（電車学習）を実施いたしました。この電車学習は、年に数回実施を予定しており、一人で電車に乗って目的地に行くことができるスキルを身につけることを最終目標としています。今回は初めての学習だったため、ペアで活動しました。路線図の見方、切符の買い方、必要に応じての乗り換えなど、様々な課題を設定し、お互いに協力し合いながら複数の目的地を目指しました。横浜市交通局の協力を得て、改札を通るたびに乗車スタンプを押してもらうことができ、皆、スタンプラリーの感覚で楽しく電車利用の仕方の学習ができたようです。学習を終えた生徒達は、自分たちの力で課題をクリアできたことが嬉しかったようで、皆キラキラした目で最終駅に戻ってきました。初めは不安でいっぱいだった生徒達も、今回の学習で少し自信がもてるようになったようです。

初めてのことや慣れないことに挑戦することはとても勇気がいることです。しかし、様々なことに挑戦し、経験することで大きく成長できます。この電車学習を終えた生徒達を見て、改めて限らない可能性を信じて挑戦していくことの大切さを感じた電車学習でした。（個別支援学級担任）

- ブルーライン、グリーンラインの乗り換えにかなり慣れることができました。●不安だった乗り換えが安心してできるようになったのでとても良かったです。●みんなで協力していろいろな駅をまわることができました。●今度はあざみ野まで一人で行ってみたいです。



## 【生徒会より】

生徒会企画に始まり生徒会総会にあいさつビンゴ企画にと、生徒会が大活躍の7月でした。

### 生徒総会を終えて 生徒会本部役員 3年 島田絢旭

生徒総会への生徒の皆さんのご協力ありがとうございました。5月末に行われた学級討議では、各クラス活発に意見や質問が出ていたようです。また、その後に行われた生徒総会では、感染症対策のためにテレビ放送での開催となりましたが、冒頭の生徒会長の話の中でもお話した、「一人ひとりが高田中の生徒会会員という自覚をもち、しっかりと話を聞く」ということができていたと思います。準備の段階でも、たくさんの方の時間を使って委員会ごとに話し合いをしたり、リハーサルを重ねたことで、当日、スムーズな進行ができました。今回の生徒総会を通じて、今まで以上に生徒会活動に興味・関心をもっていただければ嬉しいです。これからもさらに活気の溢れる高田中をみんなで創りあげていきましょう。

### あいさつ運動を通して 生徒会本部役員 2年 田中心

あいさつビンゴを一週間やってみて、全校生徒のあいさつへの意識や態度が変わったと感じます。事前アンケートでは知らない人に自分からあいさつをすることをためらう人がいることがわかりました。しかし、一週間あいさつビンゴに取り組んだことにより、朝の登校時や、ろう下ですれ違ったときに、学年やクラス関係なく、目を合わせて元気にあいさつをする場面が多く見られました。その理由としては、あいさつポスターで呼びかけるだけではなく、実際にあいさつをすることで楽しさを感じてもらえたからだと思いました。笑顔で元気なあいさつが飛び交う今の状態を今後も続けられるよう、生徒の皆さんが楽しめる企画をまたどこかでできればいいなと思います。協力してくれた皆さん、ありがとうございました。

## 【1学期を振り返って】

学年主任たちからひとことずつコメントをもらいました。

### 緑学年(1年生)

入学式から3ヶ月あまり。何も分からない状態で入学してきた一年生も、一日一日を過ごしていくごとに、一つひとつの行事を経験していくごとに、「中学生らしさ」が身に付いてきているように感じます。「授業」「定期試験」「校外行事」「生徒会」「友達関係」など学校での出来事すべてが、新しい学びとして自分を成長させてくれます。これまでの経験を生かして、2学期以降もさらなる成長をしてくれることを期待します。(学年主任 山田)

### 赤学年(2年生)

時間が経つのは早いもので、今日で1学期が終了になります。4月にクラス目標・個人目標を設定し、各自が高い意識をもって学校生活を送ることができたと思います。中堅学年として自覚ある行動が随所に見られました。体育祭では、練習時間が少ない中、実行委員会を中心にクラスで協力して取り組むことができました。鎌倉校外学習では、事前の取組や当日の行動を通して、学級や班のまとまりが出てきました。自分の仕事に責任を持って取り組めたことが一人ひとりの自信となり行動につながっていると思います。心も身体も大きく成長を感じることができました。2学期からは委員会や部活動の中心となります。今後の成長を期待しています。

(学年主任 田村)

### 青学年(3年生)

1学期を振り返ると、最上級生となったことで、どの行事にも「中学校生活最後の」という意識が芽生えているように感じました。そして、これまで2年間培ってきた経験を生かし、積極的に意見を出し合いながら、よりよい活動にしていこうとする姿勢が素晴らしかったです。体育祭では、まさに全校生徒の模範となる取組やリーダーシップを発揮し、高田中学校を引っ張ってくれたと思います。コロナ禍の制限が多くある中、どうすればやるのかを一人ひとりが考え、前向きに取り組むことで最高の体育祭を創り上げることができたと感じています。そして今後予定されている合唱コンクールや高田祭にも意欲が見られますので、きっと多くの活躍をし、成功に導いてくれると期待しています。(学年主任 辻田)

### 56組(1, 2, 3年生)

新入生を4名迎え、計11名でスタートした一学期。環境の変化にもすぐに慣れ、一日の生活パターンも定着し、落ち着いて学習に取り組むことができています。頼りになる三年生、心優しい二年生、そして、元気いっばいの一年生と学年によってカラーは違いますが、お互いに助け合いながら和気あいあいと楽しく生活できました。二学期は、三年生の進路が本格化してきます。三年生が安心して進路に向き合えるように、一学期以上にみんなのことを考えた生活を心がけてほしいと思います。

(個別支援学級担任 城戸)

### 【その他】

#### 【不安や悩みを抱える生徒の早期発見について】

近年、自殺者全体の総数が減少傾向にあるものの児童生徒自殺は後を絶たず、極めて憂慮すべき状況が続いています。自殺対策白書でも指摘されている通り、18歳以下の自殺は、8月下旬から9月上旬等の学校の長期休業明けにかけて増加する傾向があります。本校では長期休業後に教育相談の実施、夏季休業中においても部活動等の登校する機会をとらえ、保護者のみなさまと連携した継続的な様子の確認など、不安や悩みを抱える生徒の早期発見に努めていきます。保護者のみなさまにおかれましては夏季休業期間中の家庭における生徒の見守りをお願いします。その中で把握したお子さまの悩みや変化でご心配なことは学校にご連絡ください。(高田中 591-4183)

学校以外にも次のような相談窓口がございますので、お知らせいたします。

- ・教育総合相談センターの一般教育電話相談 045-671-3726
- ・「24時間子供SOSダイヤル」 0120-0-78310 (全国共通のダイヤルです。)

#### 【学校閉庁日のお知らせ】

8月3日(火)から8月13日(金)の期間、学校閉庁日となっております。この期間の緊急の場合、またはお子さまの新型コロナウイルスの陽性判明については、横浜市教育委員会北部学校教育事務所に連絡をお願いします。

【緊急連絡先電話番号】 北部学校教育事務所指導主事室 944-5978 平日 8時30分～17時15分